

2026年3月9日

# デザインブランドアッププロジェクトは第2フェーズへ 新型車両「13000系」3月30日（月）営業運転開始 生成AIを活用した流麗なデザインで相鉄線沿線を“未来”へけん引

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道株（本社・横浜市西区、社長・千原 広司）は、2026年3月30日（月）から、新型車両「13000系」（以下、同車両）の営業運転を開始します。相鉄線内のみを運行する車両として1編成（8両）を導入します。

相鉄グループでは、相鉄線や相鉄線沿線のブランドイメージおよび認知度の向上を目的に、2014年から「デザインブランドアッププロジェクト」を開始しました。これまでに、「安全×安心×エレガント」というデザインコンセプトの下、横浜の海をイメージした濃紺色「YOKOHAMA NAVYBLUE」（ヨコハマネイビーブルー）で塗装した新型車両「12000系（相鉄・JR直通線用車両）や「20000系・21000系（相鉄・東急直通線用車両）」を導入してきました。今回、「デザインブランドアッププロジェクト」の新たなフェーズとして「安全×安心×エレガント」に「未来」のコンセプトを加えて同車両を開発しました。

同車両は、通勤車両としては珍しく、細部まで徹底的にこだわったデザインが特徴です。水野学氏（good design company 代表）を中心に、車両前面の水を切り拓いて進む海の生き物のような流麗で力強い造形に仕上げました。前照灯は“未来を見つめる目”をイメージしています。前照灯の両端には、新たに「Concept Emblem（コンセプトエンブレム）」というエッジの際立った部品を新設し、より一層エレガントさを感じられるデザインを採用したほか、前照灯の内部には、線路の色であるさび色をイメージして配色しています。車両前面中央部は、「YOKOHAMA NAVYBLUE」のマット色を施した「センターパネル」を新たに導入しました。

なお、相鉄グループでは来年、相鉄本線 瀬谷駅付近で開催される2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）に相鉄グループが出展する「SOTETSU PARK（そうてつぱーく）」で、同車両の実車を展示します。

相模鉄道では、「安全×安心×エレガント×未来」をコンセプトにした同車両を導入し、「未来」に向かって前進してまいります。概要は別紙のとおりです。



新型車両「13000系」

## ■生成AIを活用した「未来」をイメージするデザイン

- ①入線時にホームから車両の横顔が美しく見える新設計を実施
- ②前照灯の両端部には、「Concept Emblem (コンセプトエンブレム)」を採用
- ③前照灯の内部には、線路の色であるさび色をイメージした配色を実施
- ④車両前面中央部に「YOKOHAMA NAVYBLUE」のマット色を施した「センターパネル」を新たに導入



前照灯



コンセプトエンブレム



センターパネル

## ■快適性など意識した車内装備

車内は、相鉄・JR直通線用車両「12000系」に比べて先頭車の座席数を6席、1編成あたり12席を増やした他、グレー色を基調にした内装で統一。「12000系」、「20000系」車両と同様にガラス製の荷棚・仕切り・貫通扉の採用により、開放感のある室内としました。時間帯で色調が変化する調色調光式のLED照明を採用した他、全ての車両にベビーカー・車椅子用のフリースペースを設置。優先席の一部には立ち座りが容易になる「ユニバーサルデザインシート※1」を採用し、多様なニーズにお応えします。

また、車内防犯カメラを設置して車内のセキュリティ向上を図る他、「ナノイーX※2」搭載の空気清浄機を各車両に1台搭載し、快適性の向上に努めています。

## ■電力使用量を最大39%抑制

環境面では、12000系と同型のIGBTタイプのVVVFインバータ制御装置※3を導入し消費電力の抑制に努めることにより、当社既存車両と比較して1両当たりの走行にかかる電力使用量を最大39%抑制できます。

※1 沿線にお住まいの方の意見を取り入れ、立ち座りを容易にするため座席の高さを上げ、座り心地を損なわない範囲で座面を小さくしたシート。

※2 ナノイーXは、パナソニック株式会社の登録商標です。

※3 VVVFインバータ制御装置は、架線から集電した直流電源を高い効率で交流電源に変換し、電車のモーターに伝えて加速や減速を滑らかに行う装置です。これにより、エネルギー効率が向上し、運行コストの削減や快適性が向上します。また、ブレーキ時には回生エネルギーを活用することも可能で、環境負荷の低減にも寄与しています。



13000系車内 (左：昼間、右：夜間)

## 2026年3月30日(月)から運行を開始する、新型車両「13000系」の概要

1. 車両名称

13000系

2. 運転開始日

2026年3月30日(月)

3. 導入編成数・両数

1編成(8両)

4. 車両製造会社

(株)総合車両製作所

5. その他

相鉄グループでは、2030年にCO<sub>2</sub>排出量を、「鉄道業で使用する電力によるものを46%削減(2013年度対比)」することを目指しており、同車両の導入により既存車両と比べて、CO<sub>2</sub>排出量をおよそ年間33.3トン削減し、環境負荷を低減します。

相鉄グループウェブサイト 次世代へつなぐ地球環境づくり

URL <https://www.sotetsu.co.jp/sustainability/environment/>

## 「13000系プロモーション」の概要

1. 内容

13000系の製造から導入までを1分程度の動画にまとめて、以下のウェブサイトで公開しています。

○デザインブランドアッププロジェクト公式サイト

<https://www.sotetsu.co.jp/design-pj/>

○相模鉄道公式YouTubeチャンネル

[https://www.youtube.com/channel/UC7uJIIS9R0Hi-Ga5j0ss\\_CA](https://www.youtube.com/channel/UC7uJIIS9R0Hi-Ga5j0ss_CA)



## プラレール「相模鉄道 13000 系」発売の概要

1. 商品名  
プラレール「相模鉄道 13000 系」
2. 発売時期  
2026 年夏
3. 販売価格  
詳細は後日、相鉄グループウェブサイト等にて公開予定

プラレール



※レールは別売です。

© TOMY 「プラレール」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

## 「デザインブランドアッププロジェクト」の概要

1. 名称  
デザインブランドアッププロジェクト  
公式ウェブサイト：<https://www.sotetsu.co.jp/design-pj/>
2. 目的  
2014 年から開始。お客さまとのタッチポイントである駅舎や車両、制服など統一したコンセプトでデザイン・リニューアルすることで、相鉄グループや相鉄線、相鉄線沿線のブランディングや認知度、イメージ向上を目的に実施。
3. コンセプト  
これまでの 100 年を礎に、これからの 100 年を創る。  
Thinking of the next century.
4. これまでのデザインコンセプト  
「安全×安心×エレガント×未来」  
～目先のトレンドに左右されない「醸成するデザイン」～

## 車両デザインについて

### ○デザイン過程

デザインコンセプトは「安全×安心×エレガント×未来」。

未来を見つめる顔をデザインするために、生成 AI も活用しています。はじめにスケッチを繰り返し、その中から原形となるイメージを 3D でモデリング。それらを生成 AI に学習させ何千というバリエーションを出力し、そこからセレクトしたものに更に手を加えていきました。アナログな作業でデザイン修正したり、再構築したり……。検証作業を繰り返し行うことで、純度の高いデザインを目指しました。

相鉄線沿線の皆さまはもちろん、ご利用になるお客さま、鉄道を愛する皆さまに愛される車両になることを一番に考えてデザインしました。未来へ向けて。



### ○水野 学氏プロフィール

good design company 代表

1972 年生まれ。1998 年 good design company 設立。

ブランドや商品の企画、グラフィック、パッケージ、インテリア、宣伝広告、長期的なブランド戦略までをトータルに手掛ける。

2013 年より、相鉄グループ「デザインブランドアッププロジェクト」に携わり、全体のクリエイティブディレクターとして、車両・駅舎・制服のリニューアルから広告・PR・イベント企画まで幅広く担当。相鉄車両のデザインは、9000 系リニューアル車両(2016 年)、20000 系(2017 年)、12000 系(2018 年)のデザイン監修に次いで、今回で 4 車両目となる。

世界三大広告賞の「Cannes Lions」金賞、「The One Show」金賞、「Clio Awards」銀賞ほか、国内外で受賞歴多数。

### ○吉田 真也氏プロフィール

SYD INC. 代表

- ・ 1984 年生まれ
- ・ 2012 年

SHINYA YOSHIDA DESIGN 設立。元自動車のメカニクスの経歴を活かし、日用品のプロダクトデザインからエンジニアリングまで、幅広いプロジェクトに参画。

- ・ 主な受賞歴

iF DESIGN 賞、GOOD DESIGN 賞、ELLE DECOR Young Japanese Design Talent、毎日デザイン賞 2019 ノミネートなど

